

9月ピッコロだよ！



【9月の活動】 2学期の目標／タイムマスター／身体を動かそう

月	火	水	木	金	土
1 2学期の目標を 発表しよう 	2 制作活動 	3 2学期の目標を 発表しよう 	4 ルール活動 	5 2学期の目標を 発表しよう 	6 2学期の目標を 発表しよう 
8 身体を動かそう 	9 2学期の目標を 発表しよう 	10 買い物活動 	11 買い物活動 	12 制作活動 	13 避難訓練 
15 敬老の日 	16 身体を動かそう 	17 めざせ タイムマスター 	18 身体を動かそう 	19 めざせ タイムマスター 	20 身体を動かそう 
22 めざせ タイムマスター 	23 秋分の日 	24 身体を動かそう 	25 めざせ タイムマスター 	26 身体を動かそう 	27 めざせ タイムマスター 
29 ルール活動 	30 めざせ タイムマスター 	～中学生の活動～ 9月13日(土)/9月27日(土):お楽しみ会について話し合おう 【放課後等デイサービス利用者負担助成制度の見直し保護者説明会】 1回目:9月6日(土)、2回目:13日(土) 10:00～ 会場:CS あさひが丘			

※専門職の来所予定日

公認心理師（松本）：3日(水)、6日(土)、25日(木)、

言語聴覚士（永山）：2日(火)、4日(木)、11日(木)、18日(木)、20日(土)、26日(金)

理学療法士（樋口）：16日(火)、24日(水)、29日(月)

作業療法士（大平）：5日(金)、13日(土)、17日(水)、30日(火)



今月の主な活動：2学期の目標を発表しよう/身体を動かそう/避難訓練

《2学期の目標を発表しよう》発表時の適切な姿勢や声量を確認し、目標の理由や達成するために頑張ること等を相手へ分かりやすく伝えます

《身体を動かそう》ルールを守りながら友だちと身体を動かす活動を楽しみます。

《めざせタイムマスター》

時間を守ることの大切さや、時間が決められている理由について考え、活動を通して楽しく時間について学びます。





★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前) 10 時～10 時 20 分まで、(午後) 13 時 30 分～13 時 50 分までにお願いします。
- ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時 00 分の間、土曜日(午前) 11 時 50 分～12 時 10 分の間、(午後) 15 時 20 分～15 時 40 分の間でお願い致します。

【キャンセル待ちについて】

- ・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

【欠席連絡について】

- ・平日は 16 時以降、土曜日(午前) 当日 9 時 30 分以降、(午後) 13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥70/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。 当日のキャンセル連絡はコドモンではなく、お電話で連絡下さい。 また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。

※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。



こんにちは。今回は江戸時代から続く鹿児島県の郷土あそびの一つである“なんこ”を紹介したいと思います。ご存じない方も多いかと思いますが、「相手の手の中にある棒の本数をあてる」または「お互いの持っている棒の合計をあてる」といったシンプルなルールのお遊びで、近年、各地で郷土のお遊びやおかしあそびが見直されてきており、“なんこ”も県内の大会があったり、「国際親善ナンコ大会」が開かれたりしています。基本的なルールは以下の通りです。

●道具:木の棒(割りばしを半分の長さにしたもの)6本 こどもは手の大きさにあわせて。

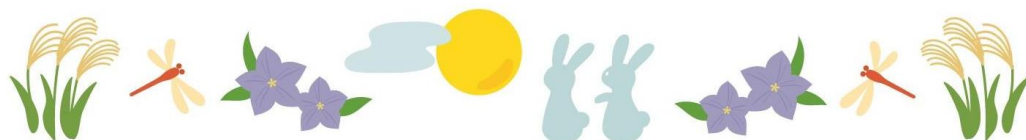
●人数:基本は2人

●あそび方:

- 1)じゃんけんで先行・後攻を決める。
- 2)お互いに背中に手をまわして、片手の中に棒を握って前に出す。この時「なんこ」と叫ぶ。
- 3)じゃんけんに勝った方が、先に相手の本数(または両方の合計)を予想して言う。
- 4)じゃんけんに負けた方が、相手の本数(または両方の合計)を予想して言う。
- 5)お互いに手を開いて握っていた“なんこ”を見せる。
- 6)合計本数を当てた人が1勝。先に3勝した方が勝ち。(両者とも外れたら、1から繰り返す)



なんこは、ルールはシンプルですが奥が深く、わざと一本だけを見せたり、何も握っていないのに握っているように見せたりと、心理的な駆け引きが面白いあそびです。棒を握る時に手のひらの触覚が働き、握る本数によって力加減を調整したり、相手にわからないように手の動きを工夫したいすることで、関節や筋肉からの情報をとらえる感覚(固有受容覚)も自然と働きます。また相手の手の動きや表情などをみること(視覚・観察力)、相手の声やナンコの音を聞くこと(聴覚)なども本数をあてる手掛かりになります。手の細かい動きを意識するにはきれいな姿勢を保つ必要があり、相手の動きや音に注意を向けることで自然と集中力は高まり、感覚は研ぎ澄まされていくでしょう。指先に意識を向け、たくさんの感覚を整理し、相手の心理を読む力、コミュニケーション能力、集中力、そして数への理解などさまざまな能力を育み、子どもからご高齢の方まで広く楽しめるあそびですので、ぜひ一度みなさんもあそんでみてください。



作業療法士
大平 優希

